

栃木県生協連・2009年度5月定例報告

2009年5月14日
栃木県連 専務 鎌柄

(1) 4月活動日誌

日付	曜日	日誌と予定
4月1日	水	働く人の相談センター・理事会
4月2日	木	地連・役員推薦委、運営委、代議員会議
4月6日	月	ふれあいコープ・検討会
4月7日	火	県連・くらし部会、県連・石油部会
4月8日	水	県連・職域部会
4月13日	月	食の安全ネットワーク・世話人会
4月15日	水	県連・三役会
4月16日	木	地連・県連責任者会議
4月17日	金	福祉まつり実行委員会
4月20日	月	県連・監事実査
4月21日	火	労福協・幹事会
4月22日	水	関東信越厚生局訪問
4月23日	木	働く人の相談センター・理事会、県・防災訓練全体会議
4月24日	金	福祉センター・理事会、県・県民の日総会、エコライフ・総会、労生協・理事会
4月28日	火	地連・大規模災害対策協議会
4月29日	水	労福協・福祉まつり

(2) 全国生協の2008年度経営状況と県内生協の状況

2008年度全国生協の経営概況は、供給高で前年比99.5%と上期のCO・OP商品の信頼問題の影響が続き、下期からの景気後退の影響も重なった。

経常剰余率は1%、前年比56%、共済を除くと0.4%、前年比35.5%と減収減益傾向に変化している。県内生協では、増収が5生協、増益が3生協、地域では3生協とも減益で、09年度の厳しさが想定される内容となった。

(3) 県内で初めて県域を越える合併の申請準備が進む

4月22日厚生労働省関東信越厚生局を訪問し、とちぎよつ葉生協といばらきよつ葉、ぐんまよつ葉との3生協の合併申請の協議が始まった。3生協の合併契約書が締結され、2010年度から一つの生協めざして、各総代会への提案が行われる予定。

(4) 2008年度決算関係書類と総代会準備に向けて

改正生協法の施行規則に沿って、3月31日決算生協では、2008年度決算より決算関係書類の整備が求められる。決算簡関係書類には、決算の注記、事業報告書、決算関係書類の付属明細書、事業報告書の付属明細書が必要になり、決算後、監査の期間を4週間確保することが法定化されたことから、そうした決算作業と諸準備を急ぐ必要があり、併せて総代会開催に向けた諸手続きも改正法に則って急ぐ必要がある。

(5) インフルエンザA型（H1N1）対策

27日付で農林水産省より今回のインフルエンザについて、緊急連絡体制の整備、事業継続計画の検討、従業員・顧客の感染防止対策などが、日本生協連に要請され、それを受けて日本生協連は、インフルエンザに対する取り組みのお願いを各会員生協に発信している。

組合員さんへの豚肉・同加工品は過熱調理により感染はない等の情報提供、事業継続計画の作成、事態の進展によっては組合員さんの集まり等の対応準備などが求められている。WHOのパンデミック警戒レベルもフェーズ4から5に引き上げられ、更に6になる可能性もあり、対応準備を急ぐことが求められている。

(6) 部会・委員会活動

7日暮らし部会では、2009年度のテーマとして、食育問題、男女共同参画、環境問題が確認された。暮らし部会拡大学習会（別紙）としては、農政と農地問題で講師を検討することとした。

7日石油部会を受けて、4月7日木目沢部会長の市況調査を基に、指定店代表との協議が行われ、4月16日からレギュラー109円を適用することが決まった。

8日職域部会では、宇都宮市職員生協（市役所）で開催された。2009年度の年間の活動予定、茨城県連主催の6県連合同業態研修について確認された。

(7) 食の安全の取り組み

13日食の安全ネットワークの世話人会が開催され、5月12日の全体会では、食品安全委員会から健康影響評価が出されていることから、「クローン牛・豚」について学習会を開催することとした。講師は県酪農試験場・酪農技術部繁殖技術研究室川野辺章夫氏にお願いした。

(8) 消費者課題の取り組み

衆議院の特別委員会で、審議が続いていた消費者庁設置関連法案は、与野党の修正協議がまとまり、衆議院全会一致で可決され、参議院の審議に移った。第2次補正予算含め、国の行政の在り方の見直しを含む消費者庁の設置、地方消費者行政の充実強化の方向性が具体化しつつある。栃木県でも今までの消費者行政独自予算約3千万円が、平成21年度は倍の約6千万円に増額されるなど、警察経験者の配置、研修の充実など検討が始まっている。

(9) 5～7月の課題

1. 第1四半期の取り組みの推進
2. 5～7月部会活動の推進
3. 5～7月ネットワーク活動（食育、食の安全、消費者課題）の推進
4. 県連としての対外広報誌の発行準備
5. 県連総会成功（09年度計画と予算、定款の一部改正、役員補充選任など）

2009年5月7日

会員各位

2009 年第 1 回くらし部会拡大 (今日の食料・農業問題) 学習会のご案内

栃木県生活協同組合連合会
会長理事 竹内 明子

新緑の候、2009年度1回目のくらし部会拡大学習会のご案内をさせていただきます。総代会準備などお忙しい時期ですが、ご参加よろしくお願ひ致します。

現在、農水省では、「食料・農業・農村基本計画」(平成17年3月閣議決定)の見直しを行っており、食料政策(国際需給と自給率問題)と農業政策(農地問題と米問題)問題も論点になっています。消費者の立場からもこうした動向に関心を持って、理解を深めたいと思います。

今回、今日の食料・農業問題をテーマとして拡大学習会を開催致します。講師は、宇都宮大学農学部の秋山満准教授にお願ひ致しました。食料・農業問題は、今日重要性を増しているテーマでありますので、役職員含めてお声がけをいただければ幸いです。

1. 開催日時 2009年6月1日(月) 10:00~11:30 予定
2. 開催場所 とちぎアグリプラザ・3階 多目的研修室
(宇都宮市一の沢2-2-13 TEL 028-649-0177)
(作新学院高等学校の西側、旧食品工業指導所の建物です。)
(バス利用の方は、宇都宮駅西口から関東バス作新学院行6番、7番をご利用下さい。)
3. 参加の呼びかけをいただきたい方々
とちぎコープ生協、とちぎよつ葉生協、生活クラブ生協の理事の皆さん
各生協の組合員組織の運営関係役員及び担当職員の皆さん
会員で参加を希望される皆さん、その他の方
4. 内 容
拡大学習会
テーマ 仮題 今日の食料・農業問題について
【食料政策(国際需給と自給率問題)と農業政策(農地問題と米問題)】

講 師 宇都宮大学農学部 秋山 満 准教授